

令和7年3月更新

もう一度見直したい！

授業づくりの基本30



福岡教育大学附属福岡中学校



令和7年3月

目次

I 実態把握

- Q 1 事前に生徒の実態を把握するポイントは？
- Q 2 生徒の実態把握をどのように生かせばよいのか？

II 学習過程

- Q 3 めあてを引き出したり生徒の意欲を高めたりする導入のポイントは？
- Q 4 「振り返り」の場面で何を書かせるとよいですか？

III 「主眼」と「めあて」

- Q 5 「主眼」と「めあて」の違いとは？
- Q 6 授業づくりの手順とは？

IV 発問

- Q 7 発問のポイントとは？
- Q 8 教師の「指導言」には何がある？

V 板書

- Q 9 板書で最初に気を付けることは？
- Q 10 学習内容が定着する上手な板書のポイントは？
- Q 11 黒板を使うよさは何か？
- Q 12 目指すべき板書の在り方とは？

VI 学習形態

- Q 13 ペア活動やグループ活動を仕組むポイントは？
- Q 14 質の高い交流活動にする上で大切なこととは？

VII ICT

- Q 15 ICTにはどのような活用法がありますか？

VIII 道徳

- Q16 「考え、議論する道徳」において、考えを深めさせるための工夫とは？
- Q17 「考え、議論する道徳」において話し合いを活発にさせる工夫とは？
- Q18 道徳科における見方・考え方とは？
- Q19 生徒が道徳的な問題を自分事として捉えるためには？
- Q20 生徒が自分事として考えるために必要な発問とは？
- Q21 道徳で「生徒の思考を揺さぶる」ためには？

IX UD (ユニバーサルデザイン)

- Q22 UD の視点を生かした授業づくりをするためには？

VI 特別支援教育

- Q23 個別の教育支援計画、個別の指導計画とは？
- Q24 自立活動の指導とは？
- Q25 生活単元学習とは？
- Q26 学習場面における教材・教具の工夫とは？

XI 特別支援教育の道徳

- Q27 道徳の内容をどのように指導すればよいのか？
- Q28 道徳をどのように評価すればよいのか？
- Q29 道徳科と他の教科等との関連は？
- Q30 道徳科と自立活動との違いは？

Q1 事前に生徒の実態を把握するポイントは？

A 「学習の定着度（知識・技能）」、「課題に対する見方・考え方（思考・判断・表現）」、「単元に関する興味（主体的に学習に取り組む態度）」など、評価の観点を踏まえ、それぞれに応じた方法を準備することが大切です。

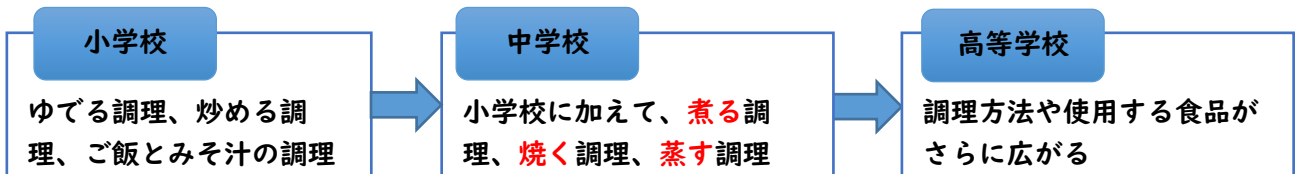
「何を」	「どのように」
単元に関する既習内容の定着度やつまずき	小テスト、事前アンケート
単元に関する興味、関心、意欲	事前アンケート
単元の学習課題や内容に関する見方・考え方	事前アンケート、様相観察

<小中高の系統性について>

- 各教科の学びとともに、小学校・中学校・高等学校の学びも生徒の中でつながるようにする必要があります。小学校や下学年での指導内容を明確にしていきましょう。

<家庭科 調理実習の例>

- 各校種の学習指導要領より



- アンケート・レディネステストなど

・これまでの学習の定着度は・・・

1, 次の切り方の名称を答えよう。

① () ② () ③ ()

2, 計量カップ1ばいは何mlですか。
ア, 100ml イ, 200ml ウ, 500ml

3, 計量スプーン(小)1ばいは何mlですか。
ア, 5ml イ, 10ml ウ, 15ml

4, 固ゆでたまごは、沸とうしてからおおよそ何分間くらいでできますか。
ア, 3分間 イ, 5分間 ウ, 10分間

5, フライパンで調理するとき、油はいつ入れるとよいですか。
ア, 火にかける前 イ, フライパンが熱くなったら
ウ, 材料を入れてから

学習内容の定着、つまずき、見方・考え方など

・普段の生活はどうなっているのだろう・・・

1, 食についてどんなことに興味がありますか。興味があるものに2つ〇を付けてください。
ア, 調理の仕方(家庭での調理など) イ, 加工食品(インスタント、トク食品を含む)
ウ, 健康や成長 エ, 食品の栄養
オ, 食の安全性 カ, マナー
キ, 環境(ゴミの分別や洗剤など) ク, その他()

2, 朝ご飯を食べていますか。
ア, はい イ, ときどき ウ, いいえ

① 1で<ア, はい>と答えた人は主に何を食べていますか。
a, ご飯 b, パン c, その他()

② 1で<イ, ときどき>または<ウ, いいえ>と答えた人はなぜ食べないのですか。
a, 時間がない b, 食欲がない c, ダイエットをしている
d, その他()

3, 保護者の方が留守のときの土日や夏休みなどに昼ご飯はどうしていますか。
下の項目の中で多いものに2つ〇を付けてください。
ア, 準備されている イ, 自分で作る ウ, ファーストフード
エ, コンビニの弁当など オ, 外食 カ, その他()

興味・関心・意欲など

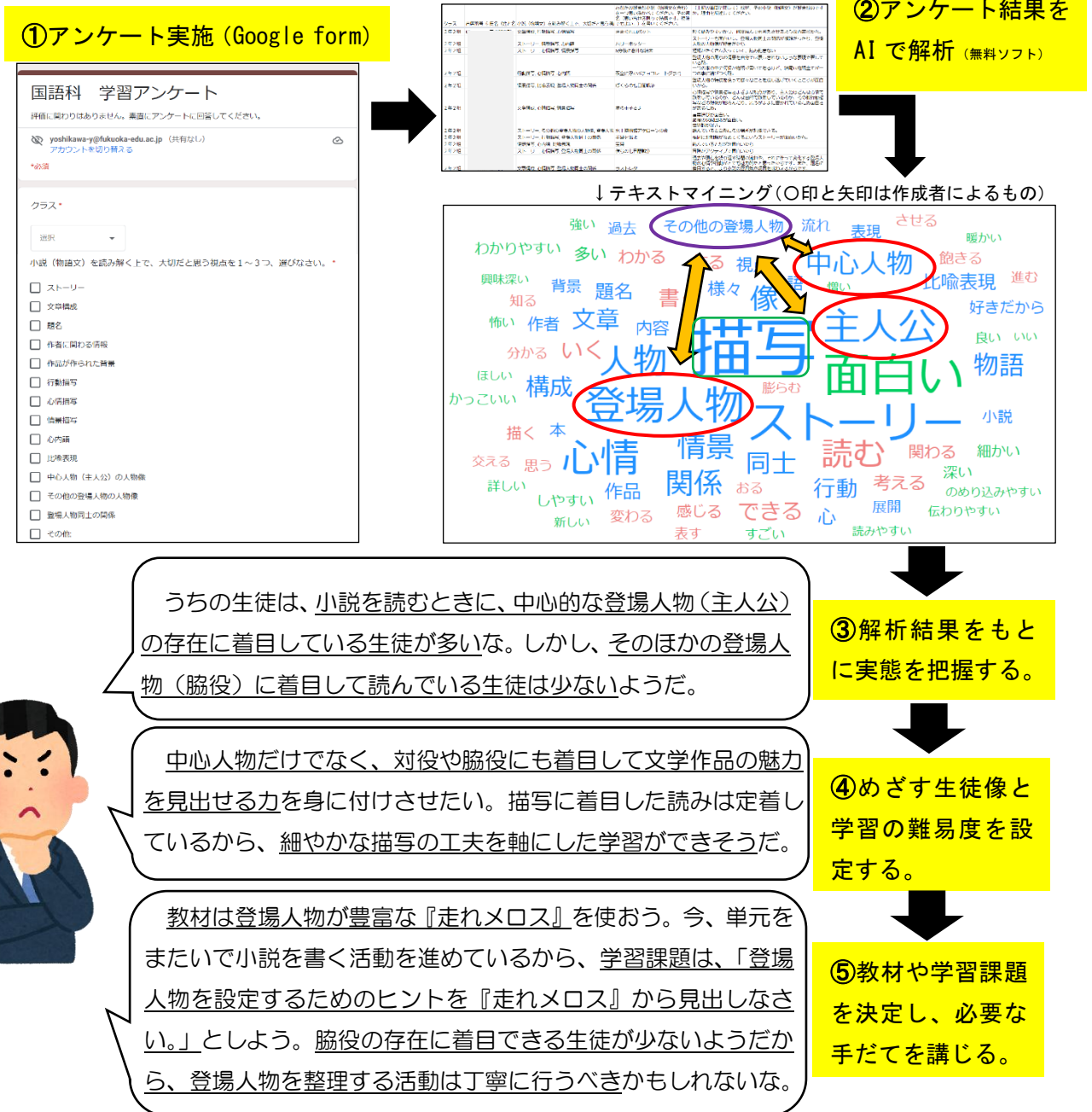
Q 2 生徒の実態把握をどのように生かせばよいのか？

A 学習課題の難易度の設定や生徒が学習を行っていく上で予想されるつまずきに対しての手だての準備に生かすことができます。

<学習課題の難易度について>

- 把握した生徒の実態を基に、一人で調べても解決できず仲間と交流することが必要となる難易度の学習課題を設定することが大切です。

<国語科（2学年）の例>



参考文献 『学びの共同体の改革』 佐藤学 (2014)

『魅力あふれる授業づくり資料集』 福島県教育庁南会津教育事務所 (2014)

Q3 めあてを引き出したり生徒の意欲を高めたりする導入のポイントは？

A **さまざまなズレや学習課題に対する不十分さに気づかせることです。**

	定義	効果
ズレ	前時の学習や生活経験などから発生する違和感のこと	生徒に「あれ？」「なんで？」という問いを生み、主体的な学びへつながる
不十分さ	自分が目指している姿と現在の自分の姿との差のこと	目指す姿が明確になり、その方向への道筋が見えることが、学びへの重要な動機付けになる

<理科（1学年）の例> 単元：水溶液

50mLの水と50mLのエタノールを混ぜると体積はどうなる？



100mLになると思います！

生活経験や既習事項から予想

では、実際に混ぜてみましょう。結果は100mLよりも小さくなりましたね。

生活経験や既習事項からのズレ

100mLにならないのはなぜだろう？
混ぜることで何が起きているのだろう？



Q4 「振り返り」の場面で何を書かせるとよいですか？

A 以下のような項目を、授業場面に応じて書かせてみましょう。

- ・ 本時の達成に対する成果
- ・ 学習を経て新たに気が付いたこと
- ・ 自分が学習で工夫したこと
- ・ 他者の考えのよさ
- ・ 学びを通じた後で、更に学んでみたいこと、疑問に思ったこと、考えてみたいこと

音楽科実践例

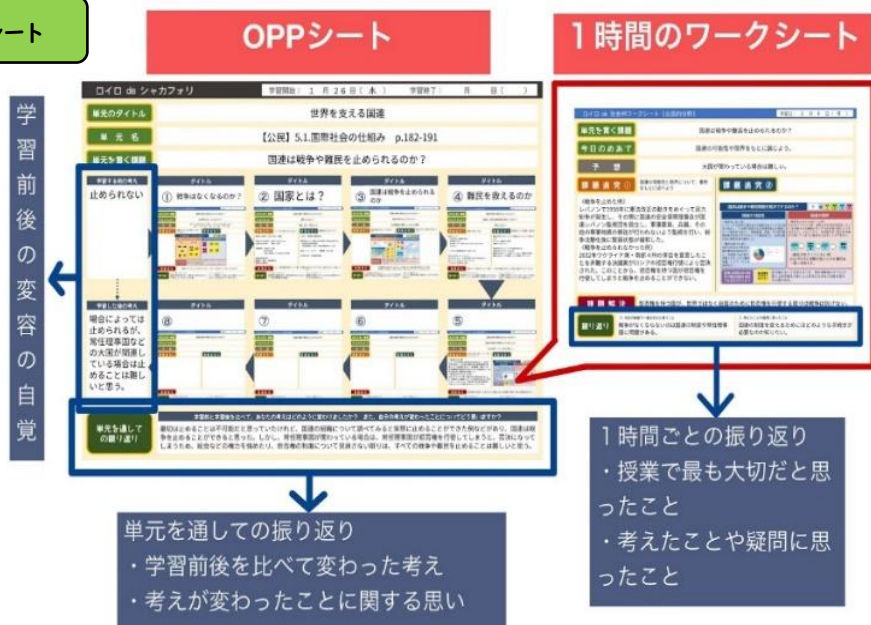
めあてを達成するために取り組んだこと	まとめ (わかったこと, できるようになったこと, 感じ取ったこと, 疑問に思ったこと, 次時に頑張りたいことなど)	今日のMyキーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初と今日聞いたポレロの違いに注意した ・ 曲の特徴を3つのポイントに分けて考えた ・ 楽器と旋律の結びつきに気がつけた 	ポレロは同じ旋律が繰り返されていても全く飽きないけれど組み方が違うポレロもおもしろくて聴き込まれるようだった。旋律と強弱、速度の3つに着目して聞くと、速度は一定だったり、ずっと強くなり続けていたり特徴的な部分がたくさんあったのでとても興味深かった。なぜ、速度は変わらないのに速くなったり遅くなったり聞こえる人がいるのだろうと考えることを考えたいと思った。	視点を具現化することによって深く曲について知ることができる！

3 工夫して考え、取り組んでみたこと

2 学習活動を通して、明らかになったこと

5 学びの中でさらに考えたり表現したりしてみたいと感じたこと

社会科実践例 3学年 OPPA シート



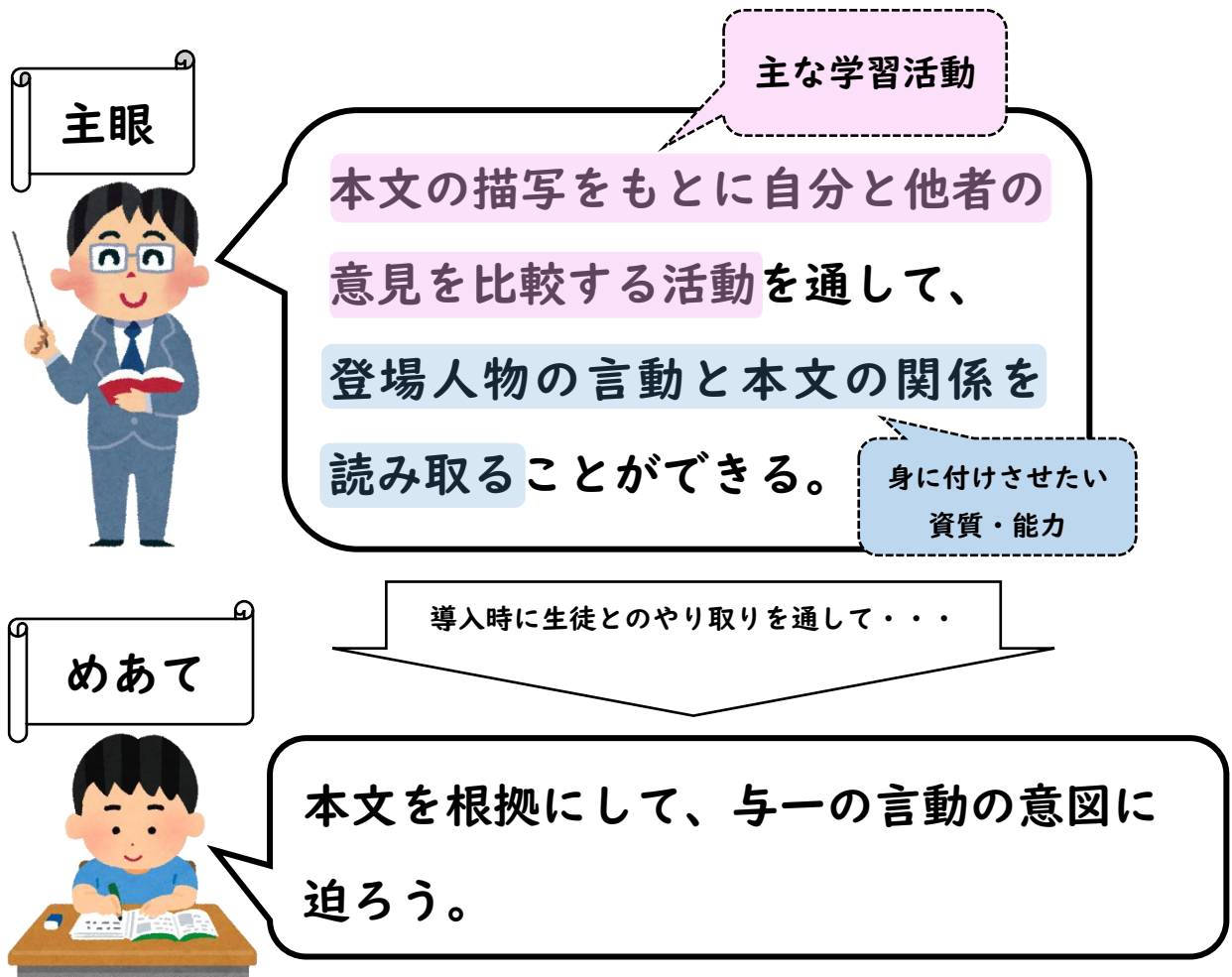
毎時間の振り返りを積み重ね、学習の変容を自覚させることで、生徒は成長を実感し、教師は授業改善に取り組むことができる！

Q5 「主眼」と「めあて」の違いとは？

**A 「主眼」は目指す生徒の姿を教師の言葉で、
「めあて」は主眼に沿って生徒の言葉で表現した
ものです。**

「主眼」とは、授業における目指す生徒の姿を教師の言葉で表現したものです。附属福岡中学校では、「〈主な学習活動〉を通して、〈身に付けさせたい資質・能力を習得〉することができる。（しようとしている。）」という形式で表現しています。〈主な学習活動〉には、目指す生徒の姿を実現させるために行う活動を記述します。また、〈身に付けさせたい資質・能力〉には、資質・能力を身に付けた目指す生徒の姿を記述します。

「めあて」とは、目指す生徒の姿を実現するための学習活動や実現までの道筋を、「主眼」に沿って生徒の言葉で表現したものです。生徒が主体的に取り組めるように表現したり、目指す生徒の姿を具体的な行動として表現したりするなどの工夫が必要です。実際の授業では、授業の導入や生徒とのやり取りに工夫をしながら、できるだけ生徒の発言を用いて提示するよう心掛けましょう。



Q6 授業づくりの手順とは？

A 目指す生徒の姿を基に、「逆向き設計」で設定します。

「逆向き設計」とは、①単元（題材）の目標→②本時の主眼→③評価規準→④めあて→⑤学習活動と手だてという流れで、授業のゴールから設計していくことです。

まず、単元または題材全体を通して目指す生徒の具体的な姿である、①単元（題材）の目標を設定します。

次に、教師の立場で①単元（題材）目標と学習活動とのつながりを示す②本時の主眼を決めます。

さらに、③評価規準を設定します。単元及び題材全体では、3観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）全てについて書き表しますが、一単位時間の中で3観点すべてについて評価を見取することは現実的ではないため、1つの観点到絞るなどが大切です。そして、導入の流れを想定して④めあてを設定します。実際の授業では生徒と共につくるものだという認識を忘れずにもっておきましょう。

最後に、①単元（題材）の目標を達成するための、⑤生徒の学習活動や教師の手だてを設定します。生徒の思考の流れを常に最優先に意識しながらより具体的に書き表します。

これは一単位時間の話ではなく、単元または題材全体の計画についても同様です。

第○学年○組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案 指導者 ○○ ○○

1 単元 「日本の食のよさを広めよう」

2 目標

- 和食の特徴について捉えるとともに、現代の日本の食における課題や地域の食材を使うことの意義について説明することができる。
- 食文化継承についての課題を見付け、その解決をめざして食生活を豊かにするための自分なりの献立を工夫することができる。
- 地域の食材を生かした雑煮の作り方やだしの特徴を捉えることを通して、地域の食文化に関心をもち、継承していこうとしている。

3 計画（6時間）

第一次 各地の雑煮の特徴について調べる。……………1時間（本時）

第二次 だしの種類を調べ、それぞれのだしの特徴を話し合う。……………2時間

(1) だしを試飲し、だしの取り方を調べる。……………1時間

(2) だしの特徴をまとめ、それぞれのだしに合う料理を探る。……………1時間

第三次 日本の食文化について調べる。……………2時間

(1) 和食の特徴についての情報を整理する。……………1時間

(2) 収集した情報をもとに献立レポートを作成する。……………1時間

第四次 現代の食の課題について考察する。……………1時間

4 本時 令和2年○月○日（○） 第○校時 計画 第一次 2年○組教室にて

5 主眼

- 我が家の雑煮と各地の雑煮の違いを探ることを通して、地域の食の違いに関心をもちようとしている。

6 準備

①ちらし寿司の写真 ②そうめんの写真 ③おせち料理の写真 ④学習プリント№1
⑤各地の雑煮のカード ⑥学習プリント№2 ⑦雑煮の分布図

7 過程

学習活動の内容	活動の目的（学習目標）	形態	配時
1 行事食について話し合い、今まで食べたことのある雑煮を思い出す。 ・年中行事と料理 ・行事食の食材と由来	① 行事食には意味があることに着目させるために、おせち料理に使われている黒豆やエビなどが食べられる理由を問う。 ② 各家庭の雑煮に違いがあることに気付かせるために、普段家庭で食べている雑煮の具を問う。	一斉	10
めあて 雑煮に入れる食材が違う理由を探ろう。			
2 それぞれの家庭の雑煮に使われている食材の違いを見つかる。 ・雑煮の文化圏の違い	○ 地域による食の違いに気付かせるために、小集団で雑煮に入っている具の相違点と共通点を比較させる。	個人 小集団	10
3 博多雑煮の特徴を探る。 ・地域雑煮の由来 ・食に関わる地域性	⑤ 地域に根付き、伝統的に受け継がれていることを捉えさせるために、博多雑煮に使われている食材の理由を問う。 ⑥ ⑦	一斉 小集団	15
4 雑煮に使われている食材について考察する。 ・地域の食材を使う意義 ・季節の食材を使う意義	○ だしの違いに気付かせるために、だしの材料よな素材を問う。 ○ 雑煮の特徴から地域による食の違いがあることを記述することができたか。	一斉 個人	15

<学習プリント分析>

①単元（題材）の目標

②本時の主眼

③評価規準

④めあて

⑤学習活動と手だて

Q7 発問のポイントとは？

A 「学習活動で見いだしたこと(事実や事柄)」、「課題解決のための見通し(方法や手順)」、「判断したり結論づけたりした理由(根拠や理由)」など、学習活動に応じた意図的な発問が大切です。

発問とは、「生徒の思考が伴う問いかけ」のことです。
生徒の思考を引き出し、学びを深めるために重要です。

<発問づくりに必要なこと>

- 教材研究を通して、理想状態が何かを見出す。
理想状態・・・授業終了後に「こうあってほしい」と思う姿
- 理想状態を問うための発問を考える。
- 発問を考えたら、その問いを生徒がどうしたらもつかを考える。
＝生徒自身が認知的なズレを意識させる。

<ねらいごとの発問の例>

- 「事実や事柄」を問いたいとき→「このことから何がわかりますか。」
「それは何ですか。」
- 「方法や手順」を問いたいとき→「どのような方法でやればよいのですか。」
「この場合、次はどうしたらよいですか。」
- 「理由や根拠」を問いたいとき→「なぜそうなるのですか。」
「あなたはなぜそのように考えたのですか。」

<発問と質問の違い>

	問いかけ	応答
発問	・健康を維持するためにどうしますか？	・栄養バランスの摂れた食事と適度な運動と十分な休養をとることを心がける →自分の言葉でまとめている
質問	・健康のために必要な五大栄養素は何ですか？	・たんぱく質、脂質、炭水化物、無機質、ビタミン →一問一答で既習事項などの確認をする。

Q8 教師の「指導言」には何がある？

A 「発問」「説明」「指示」「助言」があり、それらを意図的に使い分ける必要があります。

「説明」…生徒に新しい知識や概念を分かりやすく伝えるための言葉をかけること。

「指示」…生徒に行動・活動など、具体的な行動を促すための言葉をかけること。

「助言」…生徒の気づきを促したり学習の方向性を示したりする言葉をかけること。

<指導言の例とポイント>

指導言	例	ポイント
説明	「織田信長は、鉄砲を積極的に活用し、戦の戦術を大きく変えました。例えば、1575年の長篠の戦いでは…。」 「過疎地域では、人口減少の影響で学校や病院が減少するなどの問題が生じています。」	・新しい概念や事象を説明する。 ・具体例を交えてわかりやすく伝える。
指示	「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康のうち、1人を選んで、どんな政策を行ったかを調べてください。」 「班ごとに話し合っ、日本の人口が多い地域と少ない地域の違いを考えてみましょう。」	・明確で簡潔な言葉で指示を出す。 ・何をすべきか、生徒がすぐ理解できるようにする。
助言	「織田信長と豊臣秀吉の違いについて考えてみると、政策の面でどんな特徴があるかな？」 「北海道と沖縄の気候はかなり違うけど、その理由を地形や海流の影響から考えてみよう。」	・直接答えを言わずに、生徒が考えを深めるよう促す。 ・「なぜ?」「もし~だったら?」などの問いかけを使う。

「説明」は 知識を伝える。

「指示」は 生徒に何をすべきか伝える。

「助言」は 生徒が自ら考えられるようにサポートする。

授業では、発問も含めてこの4つをバランスよく使いながら、生徒の学びを深めていくことが大切です。



Q9 板書で最初に気を付けることは？

A 色の使い分けや線の種類等にルールを設けて、生徒と共有しましょう。

「赤いチョークでの文字は見えづらい」ということを聞いたことはありませんか。広い教室の中で、様々な場所から黒板を見ている生徒は、必要に応じてノートやプリントに書き写していきます。

色使いや記号の形状などの「板書のルール」を、生徒と共有し、わかりやすく学習内容が伝わる工夫をしましょう。

板書の原則

○チョークで書く文字は、白と黄の二色。

○赤や緑、青のチョークは傍線や囲みで使う。

○色以外の情報も加える。

(形状や輪郭線、記号、文字、矢印等



形状



輪郭



記号



Q10 学習内容が定着する上手な板書のポイントは？

A 「正確性」「明確性」「計画性」「持続性」「再現性」を意識した板書づくりです。

板書は、生徒の理解を定着させたり、考えを深めたりする手助けをしてくれます。

「正確性」は、丁寧な文字や定規を使った線で、見やすく読みやすくします。

「明確性」は、カードを用いて重要語句などを示します。

「計画性」は、ノート1ページと板書1枚が整合するようあらかじめ仕組みます。

「持続性」は、消したり、急に追加したりして戸惑わないようにします。

「再現性」は、学習内容を振り返れるようにします。



見やすく読みやすい文字で
書いて！

正確性

ポイントを分かりやすく
示して！

明確性

ノートは見開き1枚で
終わらせて！

計画性

見直したいから消さないで！

持続性

家で振り返りができるように
して！

再現性

Q11 黒板を使うよさは何か？

A 「視覚的機能」と「記録的機能」を活かした「ライブ感」あふれる授業づくりができます。


教師の巧みな話術と、生徒による発表だけでは、授業は成立しません。また、事前に作成されたスライドだけでも十分な効果があがりません。

色や図などを生かした「視覚的機能」と、重要語句や生徒の考えを適切に配置した「記録的機能」を発揮し、思考力や表現力が最大限引き出されるライブ感あふれる授業をつくりましょう。



教師や生徒の「発言」

- どんなに優れた発言も、視覚的に示さなければわかりづらい。
- すぐに消えて、残らない。

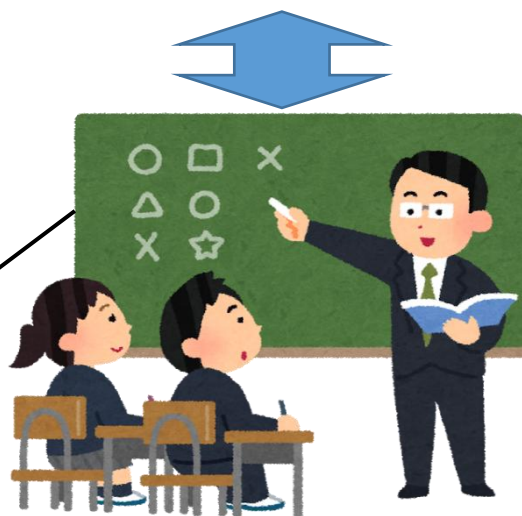


準備された「スライド」

- 次々と移り変わるスライドは、情報が残らない。
- 既定の流れに陥り、「ライブ感」が薄れる。

黒板を使えば...

色や図、資料を使って
分かりやすく示す！
【視覚的機能】



黒板には、生徒や
教師の発言が残る！
【記録的機能】

リアルタイムで思考の
流れが見える！
【授業のライブ感】

Q12 目指すべき板書の在り方とは？

A 「思考の作戦基地」となる板書づくりを目指しにしましょう。

「思考の作戦基地」とは、生徒にとって必要な「情報」が整理されたり、「情報」を取り出しやすくしたり、「情報」を使って自分の考えをまとめたりすることができる情報提供の場です。教師が準備した貼りものだけを貼ったり、生徒の発言をただ書き写したりしているだけの「掲示板」として利用しては、その機能を十分に発揮させていません。

「思考の作戦基地」となるような板書を目指します。

生徒と教師の「思考の作戦基地」となる板書

何に迷い、どこで混乱しているのか
という問題を明確にする板書

生徒の思考の流れの過程が明確に
示された板書



大量の情報を構造的に捉え、比較
しやすい板書

既存の知識と、新たな知識を結び
付けやすい板書

千葉昇：『板書什則』国士舘大学初等教育学会（2016）

荒木隆：『実践教師の心得長 新しい学力観に基づく指導の基礎・基本』

文部科学省：『色覚に関する指導の資料』（1989）

文部科学省HP：『子ども達の望む板書』（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/002/005.htm）

陣川桂三：『教育へのまなざし』ぎょうせい（1999）

北尾倫彦 他：『精選 コンパクト教育心理学』北大路書房（2006）

Q13 ペア活動やグループ活動を仕組むポイントは？

A ペア活動は、一問一答で答えられるような知識の確認場面、生徒が率直に感じたことの交流の場面等で仕組めます。グループ活動は生徒一人一人が授業で整理した考えを深めさせたり、新たな考えを創造させたりしたい場合などに仕組めます。

活動形態	活動の目的
ペア	「既習内容の確認」や 「本時に対しての見通しや気づきを促す」など
グループ	「自分で整理した意見の交流（他者の考えとの比較）」や 「課題解決に向けた意見整理や議論」など

<外国語科（2学年）>

受け身形を中心的な言語材料として「セブ島に在住の外国の方に京都の歴史的建造物の魅力を紹介する。」という学習課題を設定している題材における例

活動形態	活動の場面
ペア	・導入の際、前時に学習した受け身形の使用法を確認させる場面 ・日本の歴史的建造物を易しい単語で説明する ALT の映像を視聴させ、表現の工夫を見出させる場面
グループ	・より工夫した表現に気付かせるために、京都の歴史的建造物を説明した英文を原稿の中の良い表現について交流させる場面 ・より相手に伝わりやすい話し方にするため、発話練習をグループ内で行う場面

対話する目的に応じてペア活動（個人では考えや根拠が明確になっていないとき）とグループ活動（人によって考え方がちがうとき、様々な考え方や根拠が存在するとき）を分けることによって、必然性のある対話活動を仕組むことができたり、生徒が目的意識をもって対話活動に臨むことができたりしますね。



Q14 質の高い交流活動にする上で大切なこととは？

**A 交流の目的や方法や内容、形態などを明確にし、
教師と生徒で共有することが大切です。**

交流では、多様な意見を出させて“拡散”をねらうのか、一つの結論を出させて“収束”をねらうのか一様ではありません。しかし、どちらにも共通していることは、すべての生徒が交流の前と後で自身の思考・判断に広がりや深まりがあり、生徒自身にそのことを実感させることです。

入口

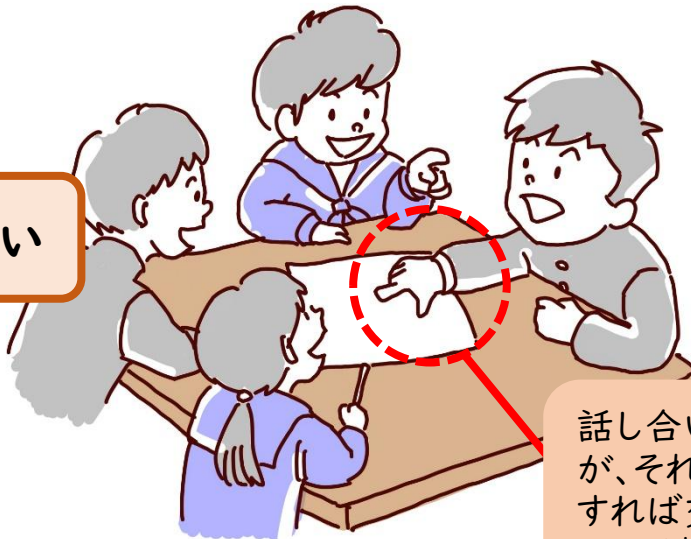
話し合うテーマ、内容、方法、まとめ方、時間などを設定し、事前に生徒に明示しましょう。

課題に対して生徒に自分の意見をもたせることが大切です。

交流の形態は、学習内容・目的によって柔軟かつ慎重に設定しましょう。

- ・ペア
- ・小集団(班)
- ・チーム(体育科)

話し合い



交流する際は、相手の考えとその根拠や理由に耳を傾けることが大切です。そのとき、わからないことや納得できないところは、積極的に質問しましょう。

話し合いは音声言語が中心ですが、それを可視化する資料を用意すれば交流は活性化し、考えを深めたり整理したりできます。

出口

交流で深まった考えを、再度自分で振り返らせる時間を設定しましょう。

振り返りでは、自分の考えが誰の、どんな助言によってどのように変わったかを記録させることも重要です。(Q4:「振り返り」参照)

Q15 ICTにはどのような活用法がありますか？

A 教材の提示や調査学習だけではなく、話し合いなどの協働学習においても活用できます。

【本校が考える ICT 活用場面の分類】

学習形態	活 用 場 面		
一斉学習	教材の提示	発表	モニタリング
個別学習	個に応じた学習	調査活動	思考を深める学習
	表現・制作	振り返り・評価	情報分析
協働学習	発表	協働での 意見整理・解決	協働制作
	学校の壁を 越えた学習	調査活動	意見交流

国語科での実践例 【協働での制作】

Googleのスライドを活用して、グループで表出した多様な意見を基に、故事成語の活用場面の整理を促しました。「故事成語の意味と用法と成り立ちを発表しよう」という課題に対して、小集団の中で、役割分担を行い、協働編集にて整理しました。

外国語科での実践例【意見交流】

グループでよりよい表現を見出させるために、ICT（ロイロノート）を使って互いの表現を可視化し、話し合う場面を設けました。絵本のストーリーを英文で表現していくなかで、一つの日本語の文章からうまれる多様な英語表現にふれることで、考えを広げることができました。



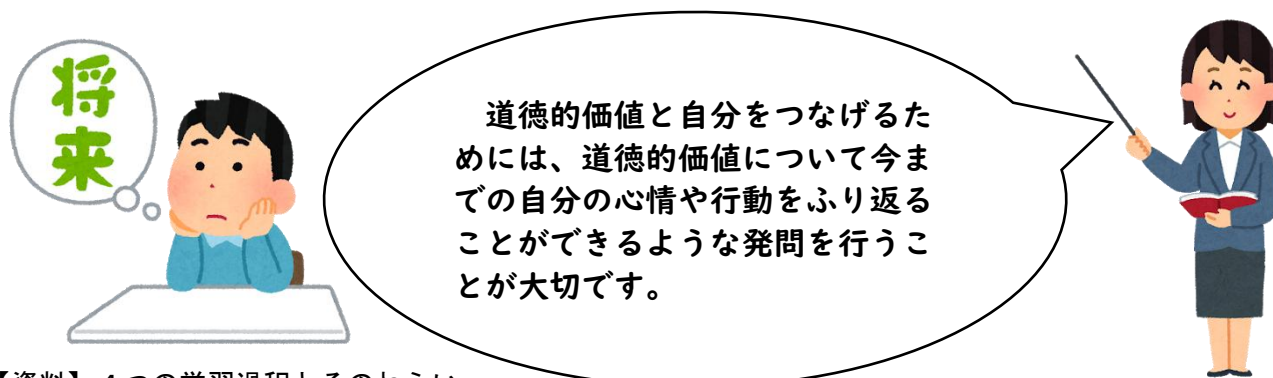
左の写真は、日本語のあらすじ（水色のシート）を生徒Aから生徒Dまでが英訳したシート（ピンクのシート）です。

協働学習の中で、それぞれのスライドを多角的に吟味し、付加修正を加えながら、完成させました。その後、スライドを用いて発表を行い、故事成語の意味等について深めていきました。

Q16 「考え、議論する道徳」において、考えを深めさせるための工夫とは？

A 道徳的価値を自分のこととして捉えることができる話し合い活動を学習過程に位置づけることです。

道徳的価値を自分のこととして捉えることができる話し合い活動を学習過程に位置付けるとは、【資料】のようなものです。道徳的価値と自分の行動を照らして考えたり、自己を見つめさせたりする学習活動を取り入れ、道徳的価値を一般化し、自分とのつながりを話し合わせる事が大切です。



【資料】 4つの学習過程とそのねらい

学習過程	学習活動・手だて
【導入】 道徳的価値を意識させます。	ねらいとする道徳的価値に対して、現在もっている道徳的価値を意識させることができるような活動や発問を仕組みます。
【展開前段】 道徳的価値を広めたり、深めたりします。	資料や友だちの考えを基にして、ねらいとする道徳的価値を深めさせることができる話し合い活動等を仕組みます。
【展開後段】 道徳的価値を一般化し、内面から自覚させます。	<u>これまでに出た考えをもとに道徳的価値を一般化し、自己を見つめさせることができるような中心発問を準備し、話し合い活動等を仕組み学習内容をまとめさせます。</u>
【終末】 実践への意欲をもたせます。	本時の学習を整理し、実践への意欲をもたせることができるよう教師の説話を行ったり、参考となる資料を提示したりします。

Q17 「考え、議論する道徳」において話し合いを活 発にさせる工夫とは？

A 「自問自答型問いかけ」の視点を取り入れた補 助発問を仕組むことです。

補助発問とは、【資料1】のようなものであり、この補助発問を意図的に活用することにより、生徒に新たな議論を与えることができます。

また、議論を活発にし、自己を見つめさせるために必要なことは教材や価値に対しての自我関与です。この自我関与を高めさせるために、道徳の本質を浮かび上げさせ、生徒が自分の生き方を倫理的に振り返ることをめざした【資料2】のような「自問自答型問いかけ」が必要です。

【資料1】 補助発問の目的や効果

	目的や効果
補助発問 (類義語) 切り返し ゆさぶり 否定発問	・いわゆる「問い返し」発問。基本発問や中心発問における子どもの反応に対して、価値の本質的な理解に向かう道筋を修正したり、わかったつもり之感覚を崩し、新たな気づきを促したりする。使う場面によって効果が変わるため、意図的に用いることで授業の流れを調整できる。

【資料2】 自問自答を促す発問の種類と発問例（「相互理解、寛容」の内容項目）

発問の種類	発問例
① 場面を問う ○特定の徳を発揮できる場面とできない場面の違いはどこか。	・寛容になれる場面と寛容になれない場面の違いはどこですか。
② 限度を問う ○特定の徳の限度はどこまでなのか。	・寛容とはすべてを容認することなのでしょうか。
③ 必要性を問う ○どうしてこの徳が必要なのか	・みんなが広い心をもたなかったらどんなことが起こりますか。
④ 関係性を問う ○徳の対象は何か・誰に対する徳なのか。	・自分への寛容と他者への寛容はどこが違いますか。
○他者と自分がどんな関係にあるのか。	・自分と利害関係にある人には寛容でも、自分と利害関係のない人には寛容でなくてもいいのでしょうか。

Q18 道徳科における見方・考え方とは？

A **様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、人間としての生き方について考えることです。**

	㉞ 道徳的諸価値を理解させるためには？	㉟ 自己との関わりで考えさせるためには？	㊱ 多面的・多角的に考えさせるためには？
ポイント	「価値理解」「人間理解」「他者理解」を深めること。	教科書を読んで登場人物の心情を考えるだけの授業で終わらずに「自分だったら」と考えること。	多面的に考える ⇒様々な側面から考える。 多角的に考える ⇒様々な登場人物の立場に立って考える。

授業実践例：教材名『私も高校生』（『あすを生きる③』日本文教出版）より

『「私」が仕事や育児をしながら、四年間学び続け、通信制の高等学校を卒業した場面』

（発問）「私」にどのような思いがあったから、四年間学び続けることができたのだろうか？

（生徒の記述例）・自分で決めたことだから、最後までやり遂げたい。

・途中でやめて、後悔したくない。

多面的に考えさせる

（補足発問1）

どうして「私一人の勉強だったら途中でやめていた」のだろうか？

（生徒の記述例）

・高等学校でできた友人と一緒に頑張りたいと思った。
・私一人じゃないという安心感があった。

自己との関わりで考えさせる

（補足発問2）

あなただったら、「卒業」という目標だけで最後まで頑張ることができるか？

（生徒の記述例）

・家族や友人の支えが必要だと思う。
・周りの人の期待に応えたいと思うことで頑張れる。

<ポイント>

生徒が道徳科における見方・考え方を働かせるためには、生徒が「違う側面（立場）」から考えることができるような授業展開や生徒が「自分だったら」と考えることができるような授業展開が大事

Q19 生徒が道徳的な問題を自分事として捉えるためには？

澤田浩一：道徳的諸価値の探究（2020）

永田繁雄：新学習指導要領の趣旨を生かした新しい自分に出会う道徳の学習（2009）

A 授業の中で生徒が、自分を主語にして考える時間を設定しましょう。

自分を主語にして考える時間とは

例えば、「同じ場面に出合ったら自分ならどう行動するか」や「あなたならこの場面でどう声をかけるか」のような発問で、生徒が自分を主語にし、具体的な行動レベルで考える時間のことです。

授業実践例：教材名『裏庭のできごと』（『あすを生きる①』日本文教出版）より

<ポイント>

- 登場人物の考えや行動の理由を考えると道徳的心情を読み取る活動も大切ですが、このような活動に終始せず、自分を主語にして考える時間を設定しましょう。
- 葛藤を生む資料の場合には「ルールを破って〇〇をするか、〇〇を諦めるか」と問い、二つの考えを基に議論させていくことだけでなく、「ルールを破らずに〇〇をするために、あなたにできることは何か。」と問うこともできます。

柳沼良太：『考え、議論する道徳』図書文化社（2018）

諸富祥彦：『「問題解決学習」と心理学的「体験学習」による新しい道徳授業』図書文化社（2015）

赤堀博行：『「特別の教科道徳」で大切なこと』東洋館出版社（2017）

Q20 生徒が自分事として考えるために必要な発問とは？

A 焦点化を促すような追発問を行います。

主に展開後段において、主発問によって生徒の道徳的価値を引き出したあと、追発問によって自我関与が高まり実践意欲を高めます。生徒の実践意欲が高まったかどうかは、終末段階の振り返りの文章で見とることができます。

【資料】追発問の視点と例

視点	具体的な追発問例
① 自己を見つめる (自己への適用)	<ul style="list-style-type: none">・自分だったらできる？・自分はできている？・自分だったらどうする？
② 効用（結果・帰結） 目的を比較	<ul style="list-style-type: none">・もしそうしたら、どうなる？ どんな良いことがある？・そうするのは、何のため？・〇〇する場合と、しない場合を比較してみよう。
③ 効用（成長・変化） 目的を比較	<ul style="list-style-type: none">・Aという考え方を信じるのと信じないのとでは、未来はどのように変わってくるだろう？・Bという考え方ではなく、Aという考え方を信じるのは、将来どんな風になりたいからだろう？
④ 考え方の整理分類 からの価値判断	<ul style="list-style-type: none">・この中で一番納得できる考え方はどれ？

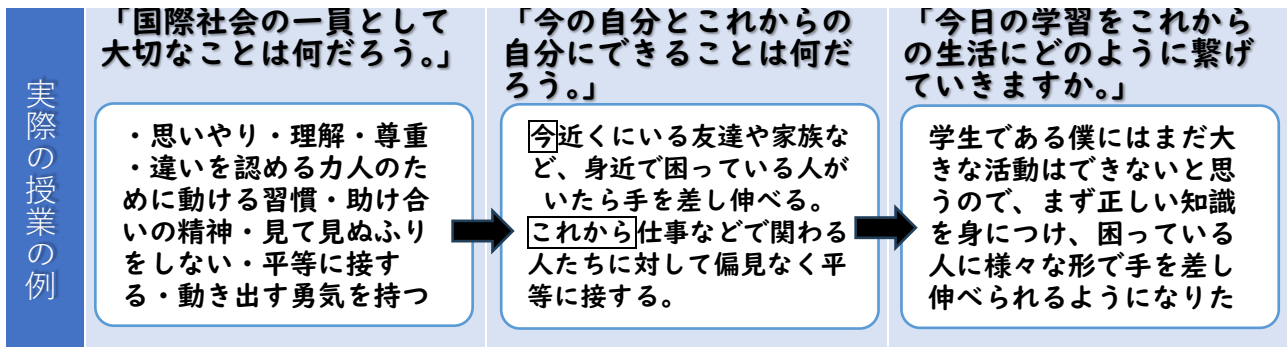
【主発問と追発問についてと実際の授業の例】

① 主発問

② 追発問

③ 振り返り

海と空～樗野の人々～（出典：「中学道徳 あすを生きる2」）



Q21 道徳で「生徒の思考を揺さぶる」ためには？

**A 「自分事思考」へと促す、繰り返し発問を
仕組めます。**

繰り返し発問とは・・・

「他人事思考（教材の内容や、登場人物の言動や心情を客観的にとらえた考え）」から、

生徒自身の考えへと言語化させるための発問（補助発問や問い直し発問とも呼ばれます。）

授業実践例：教材名『「稲むらの火」余話』（『あすを生きる③』日本文教出版）より

○資料を読んだ後、本時のねらい（郷土に貢献しようとする意欲を育てる）における当初の考えに対する繰り返し発問の実際

資料を読んだ後の問い	「郷土」や「地域の人とのつながり」は必要か？	
当初の考え	「郷土は必要だ！」	「郷土は不要だ！」
考えの理由	災害が起こったときなどに地域のつながりがあった方が安心だと思うから。	現在の生活において、地域とのつながりがなくても生きていけているから。
繰り返しの発問	<ul style="list-style-type: none"> あなたは<u>実際に</u>ご近所の方々と交流をしていますか？ あなたは<u>地域の行事に実際に</u>参加していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながりが<u>必要になること</u>は<u>今後もない</u>のでしょうか？ 災害が起こったときに、<u>あなたは</u>どうしますか？
終末段階の考え	<p>（記述内容）</p> <p>まずはマンションで同じ階や隣の部屋の方 に会った時には挨拶をしたり、町内会に参加 したりすることができると思いました。</p> <p>→表面的な理解ではなく、<u>より具体的 な姿</u>を想定させることができる。</p>	<p>（記述内容）</p> <p>前の問いでは地域のつながりは不要だと述 べましたが、大切だと思いました。地域や公 民館などの活動に参加してみたいです。</p> <p>→不要だと感じていた状態から、<u>考え の変容</u>を促すことができる。</p>

〈ポイント〉

「あなた」「現状の自分」「実際に、本当に」のようなキーワードを発問の中に取り入れることで、「自分事思考」へと促す「切り返し発問」に近づくことができる。



※補足:「そもそも『発問』ってなんだろう?」

Q7 発問のポイント参照

Q22 UD (ユニバーサルデザイン) の視点を生かした授業づくりをするためには?

平葉孝司:『発問を変える―価値に迫る道徳授業』明治図書 (2020)

荒木寿友:『子どもの本音を引き出す「補助発問」を取り入れてみよう』明治図書 ONLINE (2018)

A シンプル・クリア・ビジュアル・シェアの4つの視点をもって授業づくりをしましょう。

教科等の教育では、教科等の本質にせまるために、主に本時のねらいを絞ったり、授業展開の筋道を明確にしたりして、児童生徒にとって分かりやすい授業を構想してきました。また、特別支援教育では、児童生徒の困難さに応じて、情報を絞ったり視覚情報を与えたりしてきました。これらを「シンプル」「クリア」「ビジュアル」「シェア」という4つの視点で整理し、授業づくりに生かすことで、児童生徒にとって分かりやすい授業に変わります。

シンプル

本時のねらいやめあて、発問、生徒に提示する情報を絞ることです。そうすることで、生徒の意識や思考が焦点化され、よりスムーズに学習活動に取り組むことができるようになります。

クリア

授業展開の筋道を明確にし、生徒が授業全体を見通しながら理解を深めていけるようにすることです。教師が授業を構想する際に、授業展開の筋道を明確にすることが大切です。

ユニバーサルデザイン

ビジュアル

思考や言語などの情報を、絵や写真、図、動作などに変換し、視覚的に提示することです。一般的に、言語情報よりも、視覚情報の方が理解しやすいという傾向があります。

シェア

意図的にペアやグループなどで話し合う場を設け、生徒が発言する機会を保障したり、生徒の発言に対して教師が問い返しや補助発問を行ったり、意味付けをしたりしながら理解を促すことが大切です。

この4つの視点を意識しながら授業を構想していきましょう。

すべての生徒が「わかる・できる」授業をめざして、工夫することが大切です。

福岡県教育センター調査研究：『通常の学級におけるユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり』（2014）

Q23 個別の教育支援計画、個別の指導計画とは？

A 個別の教育支援計画とは、関係機関と連携しながら乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫した教育的支援を行うことを目的として作成される計画のことです。

個別の指導計画とは、個別の教育支援計画等を踏まえて、より具体的に個々の教育的ニーズに応じて、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んで作成される計画のことです。

個別の教育支援計画及び個別の指導計画は、障がいのある児童生徒など一人一人に対するきめ細やかな指導や支援を組織的・継続的かつ計画的に行うために重要な役割を担っています。

小・中学校の学習指導要領解説 総則編では、特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒に対する2つの計画は、全員に作成することとされています。

また、通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒などで、通級による指導を受けていない児童生徒については、2つの計画を作成することに努めることとされています。

個別の教育支援計画に書く項目（例）

氏名、住所、生年月日、児童生徒の実態、検査の記録、好きなこと、得意なこと、興味・関心
将来像、主な合理的配慮

個別の指導計画に書く項目（例）

氏名、年間目標、教科等・場面における学期目標や指導・支援の方法、目標の達成度・支援の評価

Q24 自立活動の指導とは？

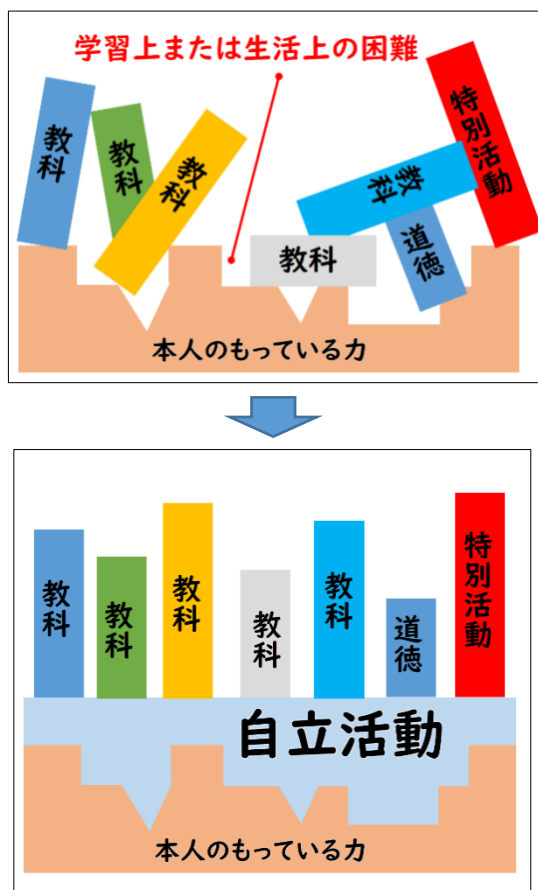
A 個々の障がいによる学習上や生活上の困難を改善・克服するための指導として特別に設けられた指導領域のことです。

障がいのある児童生徒の場合、その障がいによって、学習場面や日常生活において様々なつまずきや困難さが生じます。このため、子ども達一人一人の障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服するための指導が必要となります。各教科でねらう資質・能力を確実に育むことが求められるなか、各教科の指導の基盤となる自立活動の指導を充実することが求められています。【資料】

指導の内容は、「健康の保持」、「心理的な安定」、「人間関係の形成」、「環境の把握」、「身体の動き」及び「コミュニケーション」の6つの区分の下に27項目が設けられています。

自立活動の内容は、6区分全てを取り扱うものではなく、個々の児童生徒の障がいの状態等の的確な把握に基づき、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な項目を選定して取り扱うものとされています。よって、児童生徒一人一人に個別の指導計画を作成し、それに基づいて指導を展開する必要があります。

【資料】自立活動のイメージ



Q25 生活単元学習とは？

A 生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものです。

生活単元学習は、「各教科等を合わせた指導」です。また、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われます。

生活単元学習における指導では、児童生徒の学習活動は、**実際の生活上の目標や課題に沿って**指導目標や指導内容を組織されることが大切です。

「生活単元学習の単元設定」(例)

- 学校行事を中心とした行事単元
- 季節の生活を中心とした季節単元
- 児童生徒の生活課題を中心にした課題単元
- 偶発的な出来事を単元とした偶発単元

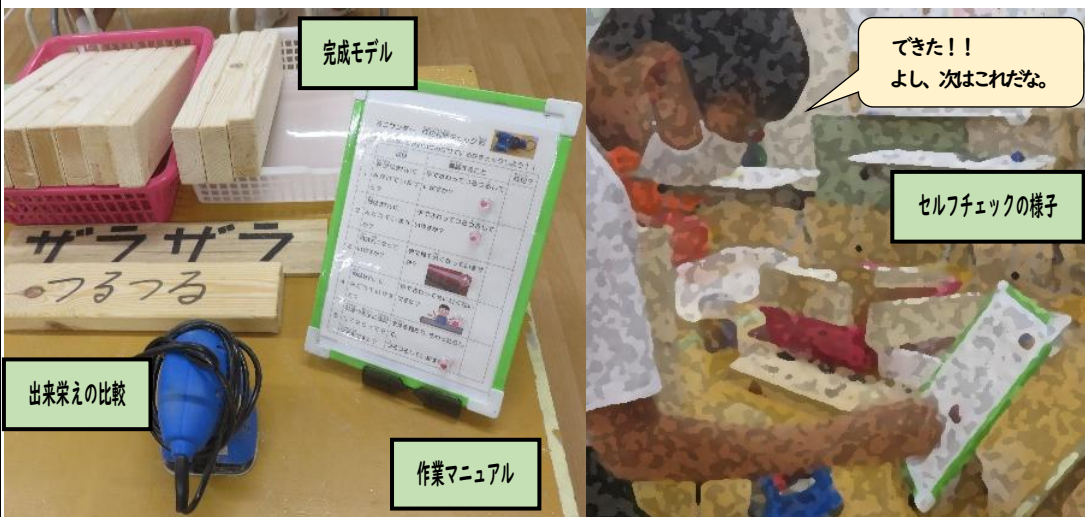
文部科学省：『特別支援学校学習指導要領』（2017）文部科学省：『特別支援学校学習指導要領解説 各教科編』（2017）
 宮崎 英憲：『〈特別支援教育〉個別の指導計画を生かした通知表記入例と文例集』明治図書出版（2012）
 明官 茂：『学習指導要領 Q&A 特別支援教育[知的障害教育]』東洋館出版社（2020）
 福岡県教育委員会：特別支援教育推進ガイド【改訂版】～一人一人が輝く共生社会の実現を目指して～（2024）

Q26 学習場面における教材・教具の工夫とは？

A 興味・関心に結びつくもの、生活に密着したものの、具体的な操作ができるものを教材・教具にすることが効果的です。

【実践例① 個に応じた工夫】

作業学習（木工）「ベンチを作ろう」（各教科等を合わせた指導）

生徒 A が自信をもって一人で作業ができる「作業マニュアル&完成モデル」	
生徒 A の実態	手先は器用だが、経験に乏しい作業は自分で判断ができずに手が止まりがちである。
ねらい	木材の研磨作業で、作業マニュアルや完成モデルを見ながら工程と製品の出来栄を自分で確認し、一人で自信をもって作業を進めることができる。
使用方法	工程や出来栄に不安を感じた際に、作業マニュアルや完成モデルを見て確認する。
引き出す力	完成までを見通す力、判断力
教材・教具の工夫の実際	 <p>できた!! よし、次はこれだな。</p> <p>セルフチェックの様子</p> <p>完成モデル</p> <p>作業マニュアル</p> <p>出来栄の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業マニュアルを見ながら出来栄をチェックし、作業に没頭することができた。 ・同じ規格（研磨具合）のパーツを量産することができた。



生徒一人ひとりが精一杯もてる力を発揮し、
首尾よく成し遂げられるように工夫します。



各実践例の教材・教具について
詳しく知りたい方はこちらのリンクへ！

【実践例】個別のグループ学習に応じた工夫

国語科「正しく伝える文章を書こう」

時間の流れが分かり表現の幅を広げることができる「時の表し方ボード」	
グループの実態	「昨日」「今日」「明日」という3日間については、日付が変わっても表現することができるが、その他の時を表す言葉（例：週、月、先週など）を用いながら様子を書くことは難しい。
ねらい	過去に撮影した出来事の様子について、5W1Hの視点を踏まえた文章を書くことができる。
使用方法	「昨日」「今日」「明日」など「日」をあらわす言葉カードを、ホワイトボードの曜日・日付の下に貼り付け、指し示しながら確認する。
引き出す力	記憶、順序性、文章表現、感情表現、文章構成
教材・教具の工夫の実例	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>時の表し方ボード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>確認している様子</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事を正確に他者へ伝える力が身につく。 ・一週間というまとまりが捉えられるようになる。 ・「日」の表現から「週」や「月」へと表現の幅を広げることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>7月2日は「一昨日」だから、一昨日、私は〜。</p> </div>

数学科「割引の計算をしよう」

割引の計算を意欲的に取り組むことができる「割引カード&ポイントカード」	
グループの実態	集中力を持続させながら意欲的に計算問題を繰り返し解くことが苦手である。
ねらい	電卓を使って、割引された値段を求めることを繰り返し、計算の仕方をつかむ。
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇%引き」と書かれた割引カードの問題を取りに行く。問題は自分で選ぶ。 ・割引カードの問題を解き、正解したらポイントカードに貼り、ゴールを目指す。
引き出す力	計算する意欲、計算の仕方、数量への着目

教材・教具の 工夫の実際			
	<p>カードを取りに行く様子</p>	<p>裏に両面テープを貼り、すぐにポイントカードに貼ることができる。</p>	

・一つ問題を解き終わると、次の割引カードを取りに行き、問題を解くことができた。
・繰り返し計算することにより、計算の仕方や着目する数字をつかむことができた。

【実践例③ 一斉指導における工夫】

美術科「自画像を描こう」

自分の顔の特徴を捉え、自画像を描くことができる「チェックシート」	
実態	<ul style="list-style-type: none"> 顔の各部位の形や位置を認識して描写することが難しい。 大きさの認識が難しく、描写が大きすぎたり小さすぎたりしがちである。
ねらい	自分の顔の特徴を捉えて、自画像を描くことができる。
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 写真や鏡で確認しながら自分の顔の特徴をチェックシートで確認する。 チェックシートを確認したり、写真や鏡や見たりしながら自画像を描く。
引き出す力	描写力、表現力、ボディイメージ、自己認識

教材・教具の 工夫の実際	<p>○自分の顔を写真や鏡で見て、特徴に○をつけよう。</p> <p>チェックシート</p> <p>顔の形 丸型 面長型 逆三角形 四角型</p> <p>目の形 たれ目 つり目 細い目 丸い目</p> <p>鼻の形 鼻が低い だんご鼻 小鼻が大きい 鼻が高い</p> <p>眉毛の形 平行眉 アーチ眉 直線眉 上がり眉</p> <p>くちびるの形 唇が厚い 唇が薄い 上唇が厚い 下唇が厚い 唇が大きめ 唇が小さめ</p>	<p>耳の大きさはこれぐらいで、形は…</p>	
	<p>写真や鏡を使って特徴をチェックしている様子</p>		
		Before (2022.12)	After (2023.3)
		<ul style="list-style-type: none"> ・顔の各部位の特徴を捉え、描写力や表現力にいかすことができる。 ・物の大きさが捉えられるようになる。 ・ボディイメージをもち、自己認識を高めることができる。 	

(参考文献)

- ・福岡県教育委員会(2018)「特別支援教育推進ガイド～一人一人が輝く共生社会の実現を目指して～」
- ・三浦光哉編(2016)『知的障害・発達障害の教材・教具 117』ジアース教育新社。

Q27 【特別支援教育の道徳】

道徳の内容をどのように指導すればよいのか？

- A** 生徒の知的障がいの状態、生活年齢、学習状況および経験等に応じて、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れるなどの工夫をします。

内容項目	C 「主として集団や社会との関わりに関すること」 (10) 規則の尊重
学年の実態	約束や決まりがあることは知っているが、約束や決まりを守ることの必要性や理由について、他者の心情を捉えて、考えることを苦手としている生徒が多い。
題材	自分の行動によって他者に与える影響を考える読み物資料
ねらい	約束や決まりを守ることの必要性に気づき、みんなで使う物を大切に使う態度を育てる。
指導の工夫	<p>① 物語のあらすじをイラストで確認</p> <p>② 気持ちを問う発問とその返答</p> <p>③ 役割演技によって引き出した言動</p> <p>④ 行動の理由を問う発問に対する返答</p> <p>(私だったら...) 謝ったあとに汚してしまったベンチを拭きます!</p> <p>具体的な行動へ</p>
成果	役割演技を行うことによって、物語の内容理解が実感的な理解につながり、自分ならどういふ言動をとるかという視点をもって、道徳的価値について考えることができた。

Q28 【特別支援教育の道徳】

道徳をどのように評価すればよいのか？

- A** 生徒が自らの成長を実感し、意欲的に取り組もうとするきっかけになるように、学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握しながら評価します。

視点① 道徳的価値について捉えているか

視点③ いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか

視点② 自己を見つめているか

視点④ 自分が今後どうしていきたいか考えているか

3学年「銀の燭台」(B「主として人とのかかわりに関すること」(11) 相互理解、寛容)



今までに友だちの失敗を許せなかったことはありますか。

教師

ないです。理由は、その人との関係を悪化したくないからです。



生徒 A



うーん、部活動で誰かが演奏を失敗しても、そんなこと考えたこともなかったな。



ミリエル司教に許されたジャン・バルジャンはどんな気持ちになったのでしょうか。

教師

うれしくなりました。ミリエル司教に許されたことで、ジャン・バルジャンは、もう一度人生をやり直すチャンスをもたらえたんだと思います。



生徒 A



なるほど、Aくんの意見、それもありがたな…。

私は感謝の気持ち、「助けてくれてありがとう」という気持ちになったと思います。



生徒 A

Bさんの意見、いいと思います。



○振り返りシートの記述より

生徒 A:人を許すことで、相手にやり直すチャンスあげたり、これからの関係を守ったりすることができるのだと分かりました。これからは自分の考えや周りの人の考えも大切にしたいです。【視点④】

生徒 B:いろいろな人の許し方があるのだと分かりました。でも人によっていろいろな許し方があるし、どうすればいいのかが難しいと思いました。人が困っていたらまずは話を聞きたいです。【視点④】

○教師による評価

生徒 A:人を許すことについて考えた際、相手に再起の機会を与えることが大切だと気づき【視点①】、自分にできることを考えた。振り返りでは、自他の考えを尊重する大切さ【視点④】について記述することができた。

生徒 B:人を許すことについて考えた際、相手に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づいたり【視点①】、他者の意見に賛同【視点③】したりすることができた。振り返りでは、他者と対話をし、よりよいかかわりをしていくこと【視点④】について記述することができた。

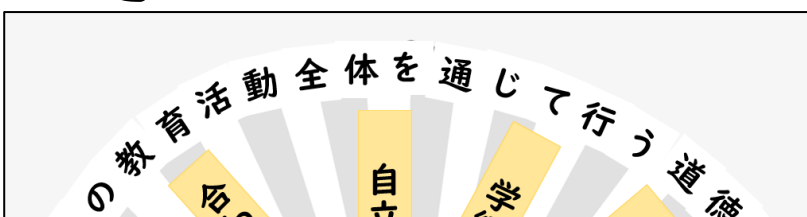
道徳は、**数値ではなく記述で評価**します。その内容も、他の生徒との比較ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に認めて取り上げることが重要です。



道徳科と他の教科等との関連は？

A 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導を行うことが大切です。

👉道徳教育の要としての道徳科について

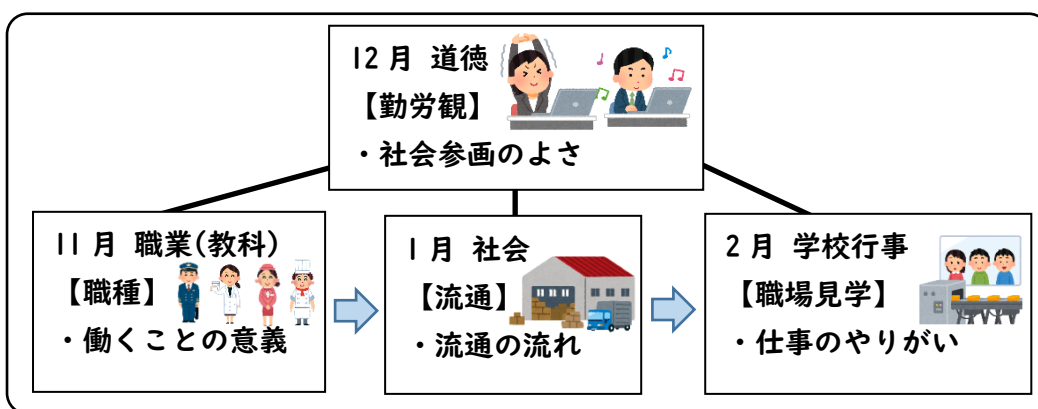


補充→取扱いが不十分な内容項目について
道徳科で補います。

深化→授業で扱う内容項目の指導を、道徳
科で行う。

統合→道徳的価値について捉え直し、発展さ
せることを道徳科で意識します。

👉 他の教科・領域等との関連を意識した指導について



道徳教育に関わる内容や活動、時期などを可視化し、生徒の実態を踏まえて指導の関連を再検討することが大切です。

道徳は、生徒の価値観を磨く取り組みです。一つの道徳的価値（例 勤労観）に焦点をあてて自覚を深め、自身の生活全体へと広げ、自分を見つめることが大切となります。



参考資料：学習指導案集細案「6 補充・深化・統合の視点」 宮城県総合教育センターR1 年度研究成果物

Q30 【特別支援学校の道徳科 目標と評価の手引き】



道徳科と自立活動との違いは？

A 道徳科は「自己の生き方を深める」、自立活動は「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する」ために取り組みます。

【道徳】	2 学年 やさしさの連鎖
内容項目	B「主として人との関わりに関すること」 (6) 思いやり、感謝

【自立活動】
生徒 C の主な指導区分
○ 心理的安定
○ 人間関係の形成
○ コミュニケーション



生徒Cの実態	他者と良好な関係を築く方法を自分なりに知っているが、具体的行動に移すことが苦手。
授業のねらい	動画に登場する「思いやりの行動」から、人は多くの人々の善意や思いやりによって支えられていることに気づき、周囲の人の思いやりに感謝し、思いやりのある行動を実践しようとする。
指導の工夫	<p>  ぼくは、これだったらできるかも。ぼくもこんな風にやってみたいな。 </p> <p> ◎ 視覚的情報の提示 →動画の内容を想起 </p> <p> ◎ 行動一覧表を提示 →自己の行動を自己選択・決定 </p> <p>  【行動一覧表】 </p>

【道徳】

動画に登場する思いやり行動を一覧表に提示したことで、自分ができそうな行動、やってみたい行動を選択できた。その結果、自己の生き方や他者とのよりよい関わり方について考え、実践しようとする具体的行動を述べることができた。

【自立活動】

周囲の状況把握や相手の様子などを判断する視点や、実際に行動にうつす際の相手への言葉かけや具体的行動に関する方法などを学ぶことができた。



上記の道徳の実践について詳しく知りたい方は
こちらのリンクへ！